

令和6年度 花巻清風支援学校第3回学校運営協議会報告書

1 日 時 令和7年2月18日(火) 10:00～12:00

2 会 場 本校会議室

3 出席者

(1) 学校運営協議会委員(出席14名)

会 長 企業関係者
副会長 北上地区、福祉関係者
A委員 地域関係者
B委員 地域関係者
C委員 遠野地区、福祉関係者
D委員 行政関係者
E委員 学識経験者
F委員 企業関係者
G委員 福祉関係者
H委員 教育関係者
I委員 教育関係者
J委員 PTA関係者【欠席】
K委員 同窓会関係者
L委員 同窓会関係者
校 長 本校職員

(2) 本校職員10名

4 学校運営協議会議事録

(1) 開会(副会長)

(2) 校長挨拶

協議の前に生徒の取り組みを見ていただいた。高等部の作業学習では委員の皆様のお蔭で地域との交流と地域貢献ができた。高等部入学者選考では18名が合格し、来年度は若干名生徒数が増加することとなる。来年度も作業学習や地域活動へのご支援をお願いしたい。

(3) 会長挨拶

高等部作業学習を見学し、大変丁寧かつ清潔な環境で指導していることに感動している。観光協会での物産展では花巻清風支援学校のブースを設けた。いい機会だったと報告をうけている。少しでも高等部作業学習について知っていただく機会になればと思う。

米国ではトランプ大統領となり、DEI廃止という不穏な動きが出ていることを心配しているが、我々としては今後も変わらず様々な場での交流活動を続けていきたい。

(4) 今年度の地域との連携・協働の状況について(副校長より資料説明)

【A委員】

「交流籍」とはどういうものか。

【小学部副校長】

自宅の学区にある小中学校のことである。

【B委員】

高等部作業学習を見学し、生徒の適性に合わせた指導をしていることに感心した。木材加工課の丸鋸等の使い方も工夫し、生徒が怪我をしないように配慮している。

生徒の作業課配属はどのように決定しているのか。毎年配属は変わるのか。

【高等部副学部主事】

生徒の希望をもとに、学部全体で適性を見て決定している。

作業課は1年ごとに配属を変えて、3年間で多くの作業課で経験できるように配置している。

【K委員】

「地域の学校等の相談支援」の状況について、就学に関わる教育相談や継続型訪問支援・随時相談支援の状況、随時相談支援に来る方々の手帳所持の状況等を知りたい。

【相談支援部長】

地域相談支援に関しては、日常生活や学校生活で子どもの様子が気になったり、教育の中で親御さんが困りを感じた時に申し込んでいただいている。継続型訪問支援では年間での訪問校が決まっているが、それ以外の学校でも相談が必要な際は直接申し込んでいただき、その都度対応している。手帳の取得状況は、低年齢ほど取得されていない状況が多い。

【A委員】

作業課の配属は生徒の希望をもとにバランスを考えて決定していると思うが、どのように振り分けているのか。併せて、どの課の希望が多いのか。

【高等部副学部主事】

作業課の配属は生徒の興味を第一にしている。手指作業等の適性は個別に判断している。生徒の希望は特定の課に偏るということでもなく、それぞれ希望が出る。今年度から始まった自動販売機の管理作業に興味がある生徒もいる。

【E委員】

年度当初の計画に追加して実施された内容が数多くあり、積極的に地域との連携・協働に取り組んでいて大変素晴らしい。

(5) 協議 ※進行【会長】

①学校評価について（副校長より資料説明）

【会長】

学校評価の質問項目は、学校の計画に沿って作られたものか、県から示されているものか確認したい。

【校長】

学校独自で設定している。

【K委員】

働き方改革の評価項目が低くなっているが、学校同窓会については先生方の負担になっていると感じている。支援学校の教職員については1%が精神疾患で休職しているという状況がある。今後の在り方については、同窓会理事会や保護者からの理解を得て進めていく必要がある。

【校長】

働き方改革については単純に時間の問題だけではなく、教職員のやりがいや満足感について見ていかなければならない問題である。直接児童生徒に関わる部分での不満は多くないようだが、地域と連携した業務に負担を感じている部分がある。今後は保護者や地域の理解と協力を得ながら進めていく必要がある。

【I 委員】

学校評価の結果がよく、大変羨ましい。
ここで言う「地域」とはどこを指すか。

【校長】

学校周辺の地域を指しており、ここであれば太田地区を中心として考えている。あえて細かく設定していないが、花巻清風支援学校としては、花巻・北上・遠野など、本校や分教室がある地域として捉えている。
そのほかにも、児童生徒が生活している場所を「地域」として表現することもある。

【I 委員】

「地域に帰る」とある。地域の方が状況を分かってくれていればいいが。

【校長】

寄宿舎を利用すれば一度生まれ育ったコミュニティからは離れる。高等部卒業後に生活するコミュニティでの関わりを大切にしたいと考えている。細かい定義が必要な場合は改めて示したい。

【会長】

学校評価回答の「分からない」という項目はほとんど選択されていなかったことから、より真剣に自分事として考えて回答している様子が窺える点で、前向きに捉えられる状況である。

②令和7年度の学校運営について（校長より資料説明）

【K 委員】

作業学習を見学したが、自分の子どもが在籍している頃はパソコンを使う作業学習はなかった（現在はロジスティクス課でパソコンを活用している）。今後は子どもたちに生きていく力をどのように付けていくのが重要になってくる。入所施設は今後増えない。作業学習等を通じて、生きていく力をしっかり身に付けてほしい。

【校長】

地域と連携した活動を通して学校の魅力発信も行っていきたいと考えている。
障害の軽重を問わず、様々な生徒が社会で生きていく力を付けていけるよう引き続き取り組んでいきたい。

【D 委員】

重点目標の達成指標について、このような高い数値はなかなか出せない。今後は95%達成に向けて、引き続き取り組んでいただきたい。

【F 委員】

高等部作業学習では手仕事課や食品加工課を興味深く見学した。大変素敵な製品で、自分でもぜひ購入したいと思うものであり、一般店舗で販売しても遜色ないと感じた。今後もぜひ製品として魅力があるものを提供していただきたい。

【会長】

本当にいい製品が多い。先日の物産展ではスツール（椅子）がほしいと思った

が、売り物ではないと言われ購入できなかった。今後もさらに作業学習を発展させてほしい。

【L委員】

前回の会議でも話したが、今の花巻清風支援学校に大変魅力を感じ、これからどのような学習活動が行われるのかワクワクしている。保護者仲間と「もう1回子どもを入学させたい」と話していたところだ。

先生方の働き方改革の観点から意見を述べたい。同窓会の活動状況を見ていて、先生方ばかりに仕事を任せていいのかと感じた。実動となる理事を増やしていくべきだと感じているが、急には手伝えなため、少しずつでも先生方の仕事を理事に任せていくようにしてはどうか。子どもの障がいの状況がどうであれ、できるだけ仕事をしてもらえるよう働き掛けたい。先生方の業務を理事に任せるのは大変な面もあるが、ぜひ働き掛けてもらいたい。

(6) 諸連絡

- ・卒業式について（出席確認について）
- ・令和7年度学校運営協議会委員について（継続依頼）
※異動等になる場合は後任者について後日お知らせいただきたい。

(7) 閉会（副会長）